
なんでもやります？！桃桜屋

リア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なんでもやります？！ 桃桜屋

【NZコード】

NZ89120

【作者名】

リア

【あらすじ】

桃桜屋へ人々の悩みや事件を何でも解決する二人組がいるお店である。今日も新たな事件が舞い込む・・・

桃桜屋～始動（前書き）

上手に書けなかつたけじよぬじへ 、（ * ）

外壁には、たくさんのはり紙がはってありました。そして、その前に入だかりができておりその中に一人の少女がいました。少女は肩くらいまでの黒髪に桃色の髪飾りをつけ、桃色に桜柄と下は黒の袴のようなものを着てお嬢様らしく立っていました。少女はきれいな手で貼り紙に触れると・・・思い切りむしりとりぐしゃぐしゃになると、一言呟きました。「あのばかは一体何を考えているのよ！」と。その頃、別の場所では一人の青年がくしゃみをしていた。～皆様のお悩みの原因や皆様の周りで起きている事件などを私達が解決させて頂きます。桜屋へ街中にある一軒の一階建の建物がありました。その一階の戸の横には桜屋と書いてある看板がかかっていました。中では短いボサボサの茶髪に紺色の浴衣のようなものを着て白い羽織を羽織っている青年が新聞を読みながら誰か来たかどうか確認していました。すると突然ギシギシとする音がして戸がすごい勢いで開けられた。青年が驚いて身を退こうとした瞬間侵入者が青年のむなぐらを掴んで青年をゆすつた。侵入者は少女だった。青年は少女に向かつて「そんなに怒らないでよ。桜」とへらへらと笑つて言った。その言葉を聞くと桜は激怒して「起こらないでいられる訳ないでしょ！このばか桃也ーー！」と叫んだ。この物語は赤星桜と夕凪桃也の波乱の日常を描いた物語である。

桃桜屋～始動（後書き）

次回もお楽しみ↖(^○^)↗

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8912o/>

なんでもやります？！桃桜屋

2010年11月13日21時35分発行